

2013年度日医大学英语

解答

[I]

問1

中絶提供者に対する暴力行為の歴史は、中絶提供者に対するヘイトスピーチを広める人たちを起訴することを強く主張している。

問2

1. c

2. d

問3 (a)・(e)

問4

(2) leading

(3) attempted

(4) bullied

問5

disguise themselves, etc

問6

hate speech

問7 d

問8

(1) エ

(2) イ

[II]

問1 (c)・(a)

問2

(1) d

(2) d

(3) c

(4) d

問3

1. passed

2. inherited

3. applies

4. infer

5. growing

6. means

問4

7. d

8. b

問5

we notice our culture after leaving our country.

問6

when you return, you tend to accept your own culture with difficulties.

[III]

1.

1. c

2. c

2.

A d

B c

3. d・e・h

4.

(1) portions, batches, quantities, dosages, etc

(2) targets, objectives, intentions, purposes, aims, etc

(3) continued, prolonged, lasted, stayed, remained, etc

(4) unwittingly, unknowingly, unintentionally, etc

(5) earlier, anterior, previous, preceding, advance, etc

5. 食物アレルギーの治療 においても、経口免疫治療 (OIT)をいったん終えた後

でも、長期にわたり効果があるのかどうかをみるため

[I]

和訳

西側諸国の多くの人は、表現の自由を、ほとんど神聖で不可侵の権利として扱うように思えるが、これは現実からかなり遠い。立憲民主制において自由な言論は、アメリカ合衆国でさえも法律や政策によって多くの方法においてすでに当然なこととして制限されている。禁止されている言論の有名な例は混んでいる劇場で「火事だ」と偽って叫ぶことである。

実際には、裁判所は表現の自由と他の権利との間のどこで折り合いを付けるべきかを判断するために、個々の場合に依じて様々な状況を見ることになるだろう。絶対的な権利は何一つとしてないのである。例えばカナダの憲法は、生活権、自由権、中絶のケースにおいては必要なメディカルサービスを安全に受ける女性の権利のような他人の基本的な権利を守るために、表現の自由のような基本的権利に制限をさせることができる。裁判所が決定したその女性の権利は、中絶クリニックの外で抗議活動する抗議者の権利よりも重大である。カナダの社会では、ヘイトスピーチに反対する法律を利用することの合法性に関して全体的なコンセンサスを得ている（意見の一致がある）。

中絶提供者に対する暴力行為の歴史は、彼らに対するヘイトスピーチを広める人たちを起訴することを強く主張している。この暴力のほとんどすべてはアメリカ合衆国で起きていて、それは米国憲法修正第一項、言論の自由を制限するための説得力のある議論になっている。

2009年5月のある日曜の朝、中絶提供者、ジョージ・ティラー医師は、カンザス州のウィチタの教会に行っているときに、暗殺された。殺人者のスコット・ローダーはしばらくその行為を計画していて、中絶反対グループのオペレーショングループ(OR)からその医師の動きについての情報を得ていた。ローダーは積極的に関わり、金を寄付していた。この過激派グループはティラー医師の仕事を廃業させるだけの目的のために2002年ウィチタ引っ越してきた。そして彼の殺人という結果になるその7年の間に、ORは彼に対する憎しみと嫌がらせの徹底したキャンペーンに携わっていた。

もちろん連続的な嫌がらせと怒りをかきたてる悪意に満ちた言葉遣いの標的は、ティラー医師と彼のクリニックだけではなかった。北アメリカ中のクリニックと提供者に向けられたこのテロの時代は、35年間続いてきた。医師とクリニック職員の9件の殺人と20件の殺人未遂、そして数百件のクリニックにおける放火と爆発攻撃を含んでいる。

1990年代初めの銃撃は、中絶反対グループによって置かれた、その医師らに対する「指

名手配ポスター」によって直接的に先導されていた。また「指名手配ポスター」は彼らの家やクリニックの住所とたびたび写真までも備えていた。医師であるデービッド・ガンとジョン・ブリトンは過激な中絶反対グループによって殺害されたが、1993年に撃たれて怪我をしたティラーと共に指名手配ポスターに載せられていた。そのポスターは、暴力からクリニックを守るための連邦法である『クリニックへのアクセス自由法』のもとで、2002年、連邦裁判所によって「本当の脅威」とみなされた。この決定で、判事たちは、それらは直接暴力の恐れがなかったということからこのポスターと関連したウェブサイト「守られた言論」としてみなした下級裁判の判決を覆した。

人々と裁判所は、中絶提供者に対するヘイトスピーチを「守られた言論」として正しいと主張するとき、なぜ中絶提供者は、迫害者たちが自由言論の権利をもつために自分の生命が危険にさらされなければならなかったのか、なぜ医師はいつも恐怖の中で振り返らなければならないのか、セキュリティガードやその他の高価な安全対策のために自腹を切らなくてはならないのか、[]、そしてその迫害者が彼らのことを『baby killers』と呼ぶ権利をもっているために、彼らの子供たちが学校でのけ者にされていじめられているのを見るのか、と問われなければならない。

弱い人たちが集団が、表現の自由の名の下に彼らに対するヘイトスピーチに我慢をしないでなければならないとする考えは、不快である。私たちは結局、人々の生活について話をしているのである。これは単に哲学的な議論ではない。自由に発言するというより権利は、基本的な価値である。しかし他人のための基本的人権、特に彼らの生きる権利よりも重大であることは許されるべきではない。

<出題された単語・熟語・文法・センテンス>

- freedom of expression 「表現の自由」
- inviolable right 「不可侵の権利」
- far from the reality 「その現実から遠く離れている」
- constitutional democracy 「立憲民主制」
- free speech 「言論の自由」
- justifiably 「当然なこととして」
- falsely 「偽って」
- strike a balance between 「AとBをうまく両立させる、折り合いをつける、うまく～間の均衡をとる」
- on a case-by-case basis 「個々の場合に応じて、臨機応変に」
- single 「(否定語を伴って) 何一つとして～ない」
- as an absolute 「絶対的なものとして」
- Canada's constitution 「カナダの憲法」
- allow fundamental rights ~ to be limited to protect ~ 「～を守るために、基本的権利を

制限させることができる」

- abortion 「中絶」
- outweigh 「～よりも重大である」
- consensus 「コンセンサス, 全体としての意見の一致」
- legitimacy 「合法性」
- counter hate speech 「ヘイトスピーチ (憎悪に基づく発言) に反対する」
- make a strong case for 「強く主張する」
- prosecution of 「～を起訴すること」
- make a compelling argument 「説得力のある議論をする」
- First Amendment of the United States constitution 「米国憲法修正第一項」
- actively involved in 「積極的に関与している」
- radical group 「過激グループ」
- drive~ out of business 「～を廃業に追い込む」
- lead up to his murder 「彼の殺人という結果になる」
- be engaged in 「～に携わっている, 従事している」
- a relentless campaign 「徹底したキャンペーン」
- inflammatory hateful rhetoric 「怒りをかきたてる悪意のある言葉遣い」
- reign of terror 「恐怖時代」
- arson 「放火」
- preceded by 「～によって先導される」
- wanted poster 「指名手配ポスター」
- complete with 「～を備えた」
- along with 「～と共に」
- be deemed 「みなされる」
- federal court 「連邦裁判所」
- the Freedom of Access to Clinic Entrance 「クリニックへのアクセス自由法」
- federal legislation 「連邦法」
- overturn a lower court ruling 「下級裁判の判決を覆す」
- defend 「弁護する, 正しいと主張する」
- look over one's shoulder 「振り返る」
- ostracize 「村八分にする」
- bully 「いじめる」
- offensive 「不快な」

問1 中絶提供者に対する暴力行為の歴史は、中絶提供者に対するヘイトスピーチを広める人たちを起訴することを強く主張している。

history of violence「暴力行為の歴史」, abortion provider「中絶提供者」, make a strong case for「強く主張する」, prosecution of 人「～を起訴すること」

問2 **1** c

prohibited speech「禁止されている言論」の例としてあてはまるのは、「混んでいる劇場で偽って『火事だ』と叫ぶこと」である。

問2 **2** d

医師らに対する指名手配ポスターは、裁判においてどのようにみなされたのか。同じ段落の最終文にある”protected speech”「守られた言論」の対となるような言葉、d.「本当の脅威」が適切である。

- a. 「間違った警報」
- b. 「親切に警告すること」
- c. 「法律上の表示」

問3 **(a)・(e)**

(f)-(a)-(g)-(b)-(d)-(e)-(c)の語順になる。it wasn't just Dr.Thiller and his clinic that were the targets (of ongoing harassment and inflammatory hateful rhetoric.)「その標的は、ティラー医師と彼のクリニックだけではなかった」

○ongoing harassment「連続的な嫌がらせ」、○inflammatory hateful rhetoric「怒りをかきたてる悪意のある言葉遣い」

問4 **(2) leading**

in the seven leading up to his murder「彼の殺人という結果になるその7年の間に」

問4 **(3) attempted**

attempted murder「殺人未遂」という意味である。

問4 **(4) bullied**

see their children ostracized and bullied「彼らの子供たちが村八分にされて、いじめられているのをみかける」S+V+O+Cの関係である。ostracized にならって過去分詞をいれるとよい。

○ostracize「村八分にする」、○bully「いじめる」

問5 **disguise themselves, etc**

disguise themselves 「変装する」, install security alarm system, 「安全警報装置をつける」, have guns 「ピストルを持つ」, wear bullet proof vests 「防弾チョッキを着る」, go to work by bullet proof car 「防弾の車で仕事に行く」など危険を感じているときに取る行動を考ええるとよい。

問6 **2** hate speech

「表現の自由の名の下に、彼らに対する**2**に我慢をしなくてはならない」直前の段落の第1文 When people and courts defend hate speech against abortion providers as “protected speech” 「人々と裁判所は、中絶提供者に対するヘイトスピーチを『守られた言論』として正しいと主張するとき～」がヒントになっている。

問7 d

a. 「この著者は、ヘイトスピーチが直接的に暴力に繋がるような極端でとても限られた状況でだけ制限されるべきであるという見解を支持している」第8段落の第1文に合わない。

○restrict 「制限する」

b. 「中絶提供者に関する個人情報を特定して共有できる指名手配ポスターとウェブサイトは、米国憲法修正第一項によって守られた言論の自由であると、連邦裁判所は2002年に裁決した」第6段落第3文に一致しない。

○rule 「裁決する」

c. 「ティラー医師の暗殺から、指名手配ポスターの配布とポスターに載った医師たちの殺人との間に、ある明らかなパターンが出てきた」テキストに記載なし。

○distribution 「配布」

d. 「著者は、オペレーションレスキュー(OR)がその見解にすでに共感している人が正当であり行動をとることを促進する1つの環境を作り出したと暗示している」第6段落第1・2文に一致している。

○validate 「正当である」

問8 (1) エ

rhetoric 「言葉遣い」のみ[é], 他は[éɪ]

○legislation 「法律」

問8 (2) イ

pocket のみ[ɑ], 他は[óʊ]

[II]

和訳

コミュニケーションは恋をしている二人だけに特別な意味をもつジェスチャーから、多
国間の戦争までに及ぶ。それは同じ文化の人々のメッセージの伝達から現代の通信メデ
ィアを通して様々な文化間の世界中で送られるメッセージを含んでいる。

我々はメッセージを伝達するが、意味までは伝えない。同じような経験をした人は、そ
の同じメッセージに同じような意味を与える。例えば、別の文化に適応する人々は、「カル
チャーショック」と呼ばれるストレスを感じる調整期間を経験する。その間に人々は混乱
させられて、ホームシックで、悲しくなり、または怒ったりするかもしれない。彼らは経
験したことがあるので、カルチャーショックという言葉が何を意味しているか知っている。
他の文化に一度も適応したことない人にとって、このフレーズは全然違うものを想起させ
るかもしれないし、まったく意味をなさないかもしれない。

同じ文化の人は、同じようなメッセージに注意を払い、それらのメッセージに起因する
意味を共有する。文化は学ぶことを通して、一世代から次の世代へと伝えられるあるグル
ープの単なる生活様式である。それは遺伝子的に引き継がれるのではなく、他人との人間
交流に参加することによって子供の間に徐々に習得される。この我々の母国文化を学ぶと
いう過程は、“enculturation (文化化)”という言葉で呼ばれている。

同じ社会の人々は、だいたい同じ価値、信念、行動、現実について考えて知覚する方法
を持っている。しかしながら個人差もまたある。文化のあらゆる説明はひとつの一般化で
あり、それぞれの状況にあるすべての人においても、それは決して当てはまらない。

芸術、音楽、文学または歴史は、文化の芸術品、遺品または結果である。我々は、人々
が一つのパターン、あるいは価値、信念、考えや知覚のシステムを持っていることを推測
する為に、ある文化のこれらの外面を調べるかもしれない。しかしながら、文化は人々が
作るものではない。それはたいてい意識内にあり、頭の中なのである。

私たちはある特定の社会の中で成長することだけで思春期前に母国文化をよく習得する。
この過程は、大部分は認識されないために、我々は異なった人々に囲まれるまでずっと、
普通、自分自身の文化を当たり前と考える。我々は、我々の文化と彼らの文化と対照比較
して、もっと意識的に自分自身に気が付くようになる。

海外に行き仕事や生活をするアメリカ人は別の文化に適応することで彼らの文化を失わ
ない。そのかわり、アメリカ人であることが何を意味するのかもっと意識的に気が付いて
自国へ帰ることになる。皮肉なことに、[A]。

新しい文化の中では、我々は自分らを違わせているものにもっと気が付くようになり、
カルチャーショックの移行期間の間に我々は文化的に埋め込まれた価値、信念、思考パ
ターンを意識的に検証する。海外に行くことによって自国の文化をよりしっかり意識できる

だけではなく、我々は我々「自身」について何が自分たちにとって重要なのかをもっとし
っかりとした意識を手に入れるのである。

悪いことは、[B], たびたび「逆カルチャーショック」や“reentry transition
stress”という言葉で呼ばれている。その限定的な証拠によれば、このストレスの多い期間
はカルチャーショックよりも一層深刻で長引いて、そしてそれはもっと早くに始まる。

これらのストレスの移行期間は風邪に類似している。「カルチャーショック」と「逆カル
チャーショック」は絶望的ではないが、「治療」はない。その「症状」は、ひとそれぞれに
っては似ているが、その重症度と持続期間が異なっているように個人によって異なっ
ている。そして生涯を通して私たちはたくさんの風邪をひく。

私たちは風邪の症状に対処する為に私たち自身の技術を発展させている。たくさん休息
する、水分を取る、チキンスープを食べるなどである。人々がカルチャーショックを経験
すると、その重症度と持続期間を最小限にするのに役立つ対処方法を作り上げる。これら
の技術の多くは逆カルチャーショックに対処する場合にも同じように役立つ。

<出題された単語・熟語・文法・センテンス>

- range 「～に及ぶ」
- period of adjustment 「調整期間」
- disorient 「混乱させる」
- evoke 「呼び起こす, 想起させる」
- whatsoever 「whatever の強調」 = at all
- attribute to 「～に起因する」
- human interaction 「人間交流」
- enculturation 「周りの文化の行動パターンを取り入れること, 文化化」
- roughly 「だいたい」
- description 「説明, 記述」
- artifact 「芸術品」
- relic 「遺品」
- external aspect 「外面」
- adolescence 「思春期」
- largely 「大部分は」
- take ~ for granted 「～を当たり前と考える」
- internal 「意識内, 内面」
- contrast and compare 「対照比較する」
- become more consciously aware of 「もっと意識的に気が付くようになる」
- irony 「皮肉」
- transitional period 「移行期間」

- embedded 「埋め込まれた」
- prolonged 「長引く」
- set in 「(好ましくないことが) 始まる」
- analogous 「類似している」
- terminal 「末期的, 絶望的」
- severity and duration 「重症度と持続期間」
- coping strategy 「対処方法」

問1 (c)・(a)

(f)-(c)-(b)-(e)-(d)-(a)の語順になる。(People who have) had similar experiences give similar meanings to the same message. 「同じような経験をした人は, その同じメッセージに同じような意味を与える」第3段落第1文がヒントになっている。

問2 (1) d

entirely 「まったく, 完全に」は totally と言い換えることができる。

eternally 「永久に」, partially 「部分的に」, slightly 「わずかに」

問2 (2) d

simply 「ただ単に」は merely と言い換えることができる。

by no means 「決して～でない」, easily 「容易に」, hardly 「ほとんど～でない」

問2 (3) c

roughly 「だいたい」は more or less と言い換えることができる。

distinctly 「はっきりと」, exactly 「正確に」, ultimately 「究極的には」

問2 (4) d

somewhat 「やや幾分」は to some degree と言い換えることができる。

barely 「かろうじて」, subsequently 「その後」, thoroughly 「完全に」

問3 1 passed

pass down 「受け継ぐ」という意味である。The way of life (of a group of people) 「あるグループの生活様式」を修飾しているなので過去分詞となる。

from one generation to the next 「一世代から次の世代へ」

問3 2 inherited

inherited 「親から子へ受け継がれた遺伝子によって伝達された」という意味になる。
acquired during childhood 「子供の頃の間に関わられた」と対になっている。

問3 **3** applies

it never applies to everyone in every situation 「それぞれの状況にあるすべての人においても、それは決して当てはまらない」

問3 **4** infer

infer that 「(that 節以下のこと) を推測する」

問3 **5** growing

simply by growing up in a particular society 「ただ単にある特定の社会の中で成長することによって」

○grow up 「成長する」

問3 **6** means

aware of what it means to be an American 「アメリカ人であることが何を意味するのかについて気が付く」

問4 **7** d

省略されているが not only ~ (but also) ~ の文である。まず Not only が先頭にきていることから倒置である。倒置の並びは疑問文の並びと同じになることから d. の do we gain が適切である。

問4 **8** b

Many of these techniques are just as useful for dealing with reverse culture shock. 「これらの技術の多くは逆カルチャーショックに対処する場合にも同じように役立つ」という意味である。前段落で、「風邪と逆カルチャーショックは類似している」と述べられている。直前にその対処の方法についても述べられている。

○just as ~ 「ちょうど~と同じ程度に」

問5 **we notice our culture after leaving our country. etc**

皮肉とは、自国を離れてみて初めて、自国の文化に気が付くということである。同じような主旨ならばおおよそ正解である。we start respecting our culture when leave it. etc

問6 when you return home, you tend to have difficulties with adjusting to your native culture. etc

自国に戻ってから経験する衝撃，逆カルチャーショックについて述べるとよい。when you return home, you have to go through another shock. etc

[Ⅲ]

和訳

国立研究所によって援助された 2012 年のある研究によれば，卵アレルギーのある子供たちと青年期の人々に，少量であるが毎日卵白パウダーの量を増やしていくことを与えることは，アレルギー反応を起こさずに卵を含む食品が食べられるようになる人もいるという方法へ発展する可能性を持っている。

この研究は政府によって資金を受けた経口免疫治療 (OIT) の実験であり，食物アレルギーのある人がそのアレルギーを治療する為の 1 つの方法として，アレルギーを引き起こす食品の量を徐々に増やしながら摂取するという方法である。OIT はアレルギー反応に対する大きなリスクを伴う為，訓練を受けた臨床医の指導の下，これらの研究はすべて行われた。

これらの研究の目標は，毎日の卵の OIT が参加者の卵タンパク質に対するアレルギー反応を削減または除去したかどうか，もしもそうであるならば，治療が 4~6 週間で止められた後に，その効果が続くかどうかを判定することであった。

この研究では，子供たちにみられるもっともよくある食物アレルギーの一つ，卵アレルギーを持っていた 5 歳から 18 歳までの 55 人の子供と青年期の人たちを登録した。参加者たちは卵 OIT を受ける治療グループ (40 人の参加者) と治療を受けない対照グループ (15 人の参加者) にいずれかにランダムに割り当てられた。両方のグループは 24 ヶ月間追跡された。

参加者たちは自宅で，卵白粉末またはコーンスターチ (プラシーボ) を毎日の服用量を摂取した。研究者たちは，二週間ごとに卵とプラシーボの服用量を徐々に増やして，卵 OIT のグループの子供たちは毎日，卵 1 個の 3 分の 1 ぐらいに等しい量まで服用していた。

参加者たちは 10 ヶ月目，22 ヶ月目，24 ヶ月目の 3 回の卵白粉末で経口負荷試験を受ける為に病院に来た。24 ヶ月目の負荷試験の部分で，彼らは本物の卵を食べる為に与えられた。参加者たちは，もしまったく症状がないか，もしくはのどの不調のような医師によって直接観察されない一過性の症状であれば，その負荷試験に合格した。もし嘔吐のような医師によって観察できる症状があるならば，その負荷試験に失格とした。

10 ヶ月後，プラシーボを摂取した参加者は誰も卵白粉末の 5 グラムの負荷試験に合格しなかったが，卵 OIT を受けた人々の 55% は合格した。卵 OIT の 22 ヶ月後，研究者たちは，

その治療グループの子供たちすべてに卵白粉末の10グラムで2回目の経口負荷試験を与えた。この食物負荷試験では、卵 OIT を受けた人々の75%が合格した。

「研究の始めでは、参加者のほとんどは卵に対して高度のアレルギーであったが、毎日の卵 OIT の数ヶ月後、彼らの多くは反応することなく、卵丸ごと1個以上食べることができたと、我々はわかりました」と、その研究の指導的立案者の一人である、チャペルヒル、ノースカロライナ大学小児科学部長、A.ウェスレー・バークス博士は述べた。

「これらの子供たちの卵へのアレルギーを削減することは、もし学校や誰か他の人の家で偶然卵にさらされたならば、どのように子供たちが反応するだろうかという親の心配を少なくしました」とこの研究のもう一人の指導的立案者、リトルロック、アンカーソン医科大学の小児科教授、ステイシー・ジョンが付け加えた。

卵 OIT がその子供たちの食物アレルギーの治療におけるいくらかの長期間にわたる効果を持っているかどうかを判定する為に、22ヶ月目のテストを合格した参加者たちは4~6週間、卵 OIT から完全に除去され、そして24ヶ月目に再免疫試験を行った。もとの40人の子供たちのうち11人(約27%)は、卵白粉末と1個のゆで卵を用いた3度目の試験に合格した。プラシーボグループの子供たちは誰も再テストされなかった。なぜならば彼らはその前の食物負荷試験に失格していたからである。3度目のテストに合格したその11人の子供たちは、いつもの食事において卵または卵を含む食品を彼らが選択するのと同じくらい頻繁であってもたまにであっても食べることが許可された。1年の追跡調査で、彼らが症状を報告することはまったくなかった。

<出題された単語・熟語・文法・センテンス>

- adolescent 「青年期の人」
- develop into 「～に発展する、高じて～になる」
- egg-containing foods 「卵を含んだ食品」
- the National Institutes of Health 「国立研究所」
- federally funded trial 「連邦政府によって資金を受けた実験」
- oral immunotherapy 「経口免疫治療」
- consume 「摂取する」
- carry significant risk 「大きなリスクを伴う」
- the guidance of trained clinicians 「訓練を受けた臨床医の指導」
- determine 「見つけ出す、究明する、判定する」
- reduce 「削減する」
- eliminate 「除去する」
- enroll 「登録する」
- be randomly assigned either to ~ 「～のいずれかにランダムに割り当てられる」
- control group 「対照群、対照グループ」

- be followed for 24 months 「24 ヶ月間追跡される」
- cornstarch powder (placebo) 「コーンスターチ (プラシーボ, 偽薬)」
- equivalent 「同量」
- transient symptom 「一過性の症状, 一時的な症状」
- not directly observable by a doctor 「医師によって直接観察されない」
- throat discomfort 「のどの不調」
- vomiting 「嘔吐」
- oral food challenge 「経口負荷試験」
- highly allergic 「高度のアレルギー」
- chair of the Department of Pediatrics 「小児科学部長」
- the study's lead author 「その研究の指導的立案者」
- lessen parental anxiety 「親の心配を少なくする」
- rechallenge 「再免疫試験を行う, 再投薬試験を行う」
- cooked egg 「ゆでた卵」
- normal diet 「普通の食事」
- frequently or infrequently 「頻繁であってもたまにであっても」
- one-year follow-up 「一年の追跡調査」

1. **1** c

直後が完全な文になっているので in which が適切である。

1. **2** c

aged 「数詞の前において～歳の」という意味になる。

e.g. aged 12-36 months 「生後 12 から 36 ヶ月」, a boy aged 10 「10 歳の男の子」

2. A-d

A. 「その 10 ヶ月の経口負荷実験において, その患者の半分以上は～」

a. 「その卵の治療において, アレルギー症状を経験しなかった」

b. 「経口免疫治療を受けた～はその研究から撤退した」

○withdraw 「撤退する, 取りやめる」

c. 「対照グループにおいて, その試験を無事終了した」

d. 「その治療グループにおいて, 軽症かまったく症状が出なかった」第 6 段落第 3 文に述べられている。

2. B-c

- B. 「卵白粉末で治療された参加者の 3 分の 1 未満は, _____」
3 分の 1 未満とは, 第 11 段落に述べられている 40 人中 11 人のことを指している。less than は「未満」という意味である。ちなみに「以下」は less than or equal to である。
- a. 「治療をやめた後, 彼らが獲得した卵タンパク質に対してのその耐性を失う」
○achieve 「獲得する」, ○lose the tolerance to egg protein 「卵タンパク質に対して耐性を失う」, ○after discontinuing treatment 「治療をやめた後」
- b. 「22 ヶ月後卵を注入することができた」
○ingest 「注入する」
- c. 「二年後にはアレルギー反応を完全に失っていた」第 11 段落最終文に述べられている。
○altogether 「完全に」
- d. 「経口免疫治療の間, 安全に卵にさらされることができた」

3. d・e・h

- a. 「卵アレルギーのある人々を卵タンパク質のどんどん高い量にさらすことは拒絶反応を引き起こすことがあり得る」第 2 段落第 2 文に一致する。
○adverse reaction 「拒絶反応, 副作用」
- b. 「このパッセージに記載されたアメリカの研究は, 政府の資金援助でなされた」第 1 段落に一致する。
○described 「記載された」
- c. 「その研究の参加者は 2 つの集団のうちの 1 つにたまたま割り当てられた」第 4 段落第 2 文に一致する。
○allocate 「割り当てる」
- d. 「食物アレルギーに対する経口免疫治療は, 徐々に服用量を増やす際には, 時間をかけてアレルギーを作り出す食料を注入することを含む」第 2 段落の第 1 文に一致しない。
○inject 「注入する」, over time 「時間をかけて」,
- e. 「経口免疫治療の参加者たちは, 連続して 24 ヶ月間, 少量の卵白粉末を投与された」第 10 段落第 1 文に一致しない。
○receive 「投与される」, consecutive 「連続して」
- f. 「2 つのグループの参加者たちは, 入院しないで毎日の服用量を取った」第 5 段落第 1 文に一致する。
- g. 「経口免疫治療は, 食物アレルギーの子供の親に, その子供たちが家の環境の外にいるときに, より安心できる手助けするように思われる」第 9 段落に一致する。
○feel at ease 「安心する」
- h. 「経口免疫治療グループの参加者は, だいたい卵の 3 分の 1 に等しい毎日の服用量から始めた」第 5 段落第 2 文に一致しない。
- i. 「24 ヶ月目の経口負荷実験に合格した人々は, いつもの食事に卵を取り入れるように指導

された」第 10 段落第 4 文に一致する。

○oral food challenge 「経口負荷実験」, ○incorporate 「取り入れる」

j. 「経口免疫治療は、通常の臨床行為でまだ使われていない」第 1・2 段落に一致する。

○have yet to 「まだ～していない」, ○general clinical practice 「通常の臨床行為」

4. (1) portions, batches, quantities, dosages, etc

portion 「部分」, batch 「1 度分」, dosage 「投薬量」などが該当するだろう。

○dose 「服用量」

4. (2) targets, objectives, intentions, purposes, aims, etc

「目的」を表わす単語を入れればよい。

○goal 「目的」

4. (3) continued, prolonged, lasted, stayed, remained, etc

「続く」や「残る」という 1 単語を入れるとよい。

○persist 「持続する」

4. (4) unwittingly, unknowingly, unintentionally, etc

unwittingly 「無意識に」, unknowingly 「知らずに」, unintentionally 「意図せずに」などが該当するだろう。

○accidentally 「偶然に」

4. (5) earlier, anterior, previous, preceding, advance, etc

earlier 「以前の」, anterior 「前の」, previous 「前の」, preceding 「上記の」, advance 「事前の」などが該当するだろう。

○prior 「以前の」

5. 食物アレルギーの治療において、経口免疫治療(OIT)をいったん終えた後でも、長期にわたり効果があるのかどうかをみるため

「この研究において研究者たちが 3 度目の経口負荷試験を含めた理由を短くまとめなさい」という設問である。第 10 段落第 1 文 to determine if egg OIT had any long-term benefit on treating the children's food allergy. に理由が述べられている。ここでの benefit は「効果」のことである。

○briefly 「短く」, ○summarize 「要約する」

<出題された単語・熟語・文法>

- freedom of expression 「表現の自由」
- inviolable right 「不可侵の権利」
- far from the reality 「その現実から遠く離れている」
- constitutional democracy 「立憲民主制」
- free speech 「言論の自由」
- justifiably 「当然なこととして」
- falsely 「偽って」
- strike a balance between 「AとBをうまく両立させる, 折り合いをつける, うまく～間の均衡をとる」
- on a case-by-case basis 「個々の場合に応じて, 臨機応変に」
- single 「(否定語を伴って) 何一つとして～ない」
- as an absolute 「絶対的なものとして」
- Canada's constitution 「カナダの憲法」
- abortion 「中絶」
- outweigh 「～よりも重大である」
- consensus 「コンセンサス, 全体としての意見の一致」
- legitimacy 「合法性」
- counter hate speech 「ヘイトスピーチ (憎悪に基づく発言) に反対する」
- make a strong case for 「強く主張する」
- prosecution of 「～を起訴すること」
- make a compelling argument 「説得力のある議論をする」
- First Amendment of the United States constitution 「米国憲法修正第一項」
- actively involved in 「積極的に関与している」
- radical group 「過激グループ」
- drive~ out of business 「～を廃業に追い込む」
- lead up to his murder 「彼の殺人という結果になる」
- be engaged in 「～に携わっている, 従事している」
- a relentless campaign 「徹底したキャンペーン」
- inflammatory hateful rhetoric 「怒りをかきたてる悪意のある言葉遣い」
- reign of terror 「恐怖時代」
- arson 「放火」
- preceded by 「～によって先導される」
- wanted poster 「指名手配ポスター」
- complete with 「～を備えた」
- along with 「～と共に」

- be deemed 「みなされる」
- federal court 「連邦裁判所」
- federal legislation 「連邦法」
- overturn a lower court ruling 「下級裁判の判決を覆す」
- defend 「弁護する, 正しいと主張する」
- look over one's shoulder 「振り返る」
- ostracize 「村八分にする」
- bully 「いじめる」
- offensive 「不快な」
- range 「～に及ぶ」
- period of adjustment 「調整期間」
- disorient 「混乱させる」
- evoke 「呼び起こす, 想起させる」
- whatsoever 「whatever の強調」 = at all
- attribute to 「～に結び付く」
- human interaction 「人間交流」
- enculturation 「周りの文化の行動パターンを取り入れること, 文化化」
- roughly 「だいたい」
- description 「説明, 記述」
- artifact 「芸術品」
- relic 「遺品」
- external aspect 「外面」
- adolescence 「思春期」
- largely 「大部分は」
- take ~ for granted 「～を当たり前と考える」
- internal 「意識内, 内面」
- contrast and compare 「対照比較する」
- become more consciously aware of 「もっと意識的に気が付くようになる」
- irony 「皮肉」
- transitional period 「移行期間」
- embedded 「埋め込まれた」
- prolonged 「長引く」
- set in 「(好ましくないことが) 始まる」
- analogous 「類似している」
- terminal 「末期的, 絶望的」
- severity and duration 「重症度と持続期間」

- coping strategy 「対処方法」
- adolescent 「青年期の人」
- develop into 「～に発展する, 高じて～になる」
- egg-containing foods 「卵を含んだ食品」
- the National Institutes of Health 「国立研究所」
- federally funded trial 「連邦政府によって資金を受けた実験」
- oral immunotherapy 「経口免疫治療」
- consume 「摂取する」
- carry significant risk 「大きなリスクを伴う」
- the guidance of trained clinicians 「訓練を受けた臨床医の指導」
- determine 「見つけ出す, 究明する, 判定する」
- reduce 「削減する」
- eliminate 「除去する」
- enroll 「登録する」
- be randomly assigned either to ~ 「～のいずれかにランダムに割り当てられる」
- control group 「対照群, 対照グループ」
- be followed for 24 months 「24 ヶ月間追跡される」
- cornstarch powder (placebo) 「コーンスターチ (プラシーボ, 偽薬)」
- equivalent 「同量」
- transient symptom 「一過性の症状, 一時的な症状」
- not directly observable by a doctor 「医師によって直接観察されない」
- throat discomfort 「のどの不調」
- vomiting 「嘔吐」
- oral food challenge 「経口負荷試験」
- highly allergic 「高度のアレルギー」
- chair of the Department of Pediatrics 「小児科学部長」
- the study's lead author 「その研究の指導的立案者」
- lessen parental anxiety 「親の心配を少なくする」
- rechallenge 「再免疫試験を行う, 再投薬試験を行う」
- cooked egg 「ゆでた卵」
- normal diet 「普通の食事」
- frequently or infrequently 「頻繁であってもたまにであっても」
- one-year follow-up 「一年の追跡調査」